

2023 年 2 月 5 日（日）環境日本一仙台を目指す

市民フォーラムⅡワークショップにて出された参加者の意見
テーマ「森も人間も豊かになる方法を一緒に考えませんか？」

- ・ 山を持っていても現状では収入にならない。（原木が安すぎる）
- ・ 環境保全に貢献している森林の所有者にある程度の利益があるようにできないか？
- ・ 森林を伐採して再生可能エネルギーを増やすやり方には反対する。
- ・ 戦後の国策で成長が早くて建築用材に適した「杉」を大量に植林したことでの良い結果として
 1. 杉の木が成長したことにより日本で使用する木材を国産材だけでまかなえる量になってきた。
 2. 林業の再生を本気でやれば林家→伐採→製材→消費者 皆に良い。

逆に悪い結果として

1. 杉や桧などで針葉樹は落葉しないので腐葉土や土壌ができず保水力が少ないので洪水の原因の一つになっている。
 2. 本来は食物連鎖の始まりである「落ち葉」が無いと自然循環が止まってしまう。
 3. 陸上のミネラルが海へと流れることによって「豊かな海」となるのだが、腐葉土によって生成されるフルボ酸やフミン酸ができないとミネラル分が海へ届かなくなり「乏しい海」となってしまう。
- ・ 来年度より実施される「森林環境税」の使い道について話し合う場をつくる。
 - ・ 適度な間伐を実施して「杉と広葉樹の混交林」を増やし、森林の生態系を蘇えらせる。
 - ・ 市民に森林について関心を持ってもらえるような取り組みを増やす。（仙台市内でもモデル地区をつくる。）
 - ・ 自分たちの里山は自分たちで守っていくという意識を持つこと。
 - ・ 本日のような会をもっと開くことが必要だと思った。